

# 中央家畜衛生広報

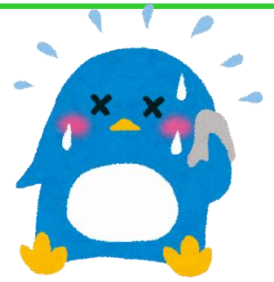
福島県中央家畜保健衛生所

〒963-6311 石川郡玉川村大字岩法寺字新屋敷114-12

TEL 0247-57-6131 FAX 0247-57-6144

死亡牛搬入専用TEL: 090-5844-5300

E-mail kaho.lhs08@pref.fukushima.lg.jp



令和4年8月号

## 夏季休暇期間中の防疫対策の徹底

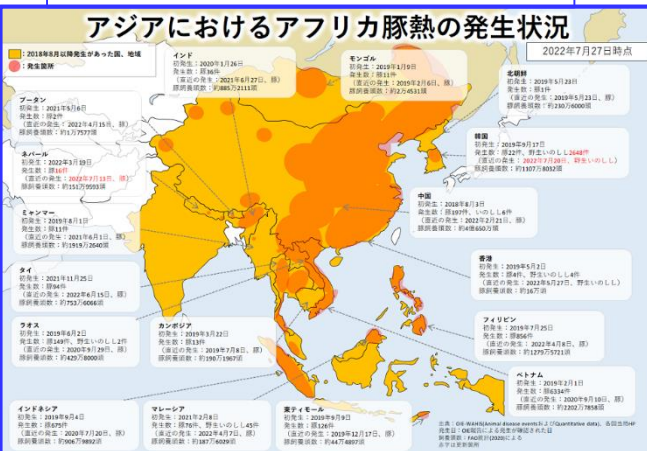
家畜の重大な疾病である**口蹄疫**は、依然としてアジアで広く発生しており、本年5月以降、インドネシアでの発生が確認され、7月には観光地として有名なバリ島でも発生が確認されています。

**アフリカ豚熱**は、近年、ヨーロッパ及びアジアの地域で発生が拡大し続けています。

新型コロナウイルスに伴う、渡航や入国の規制が緩和される中、外国人入国者数の増加が見込まれており、口蹄疫、アフリカ豚熱等の発生地域からの人・モノの移動が増加することが予想されます。

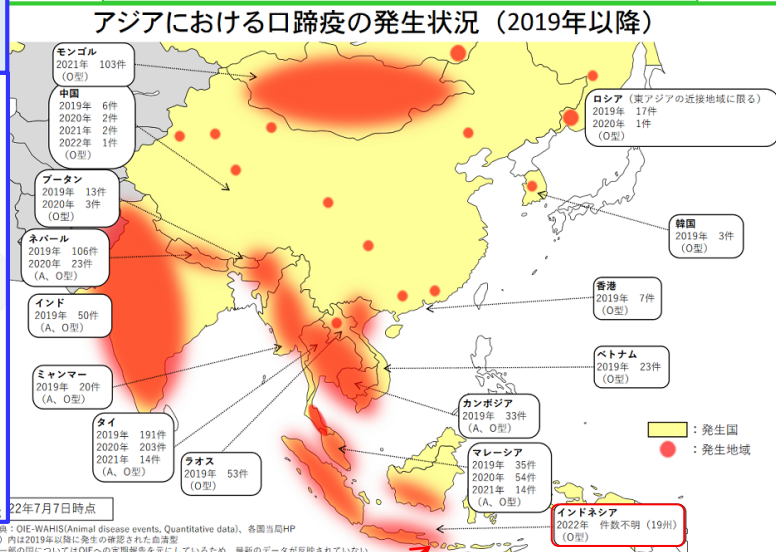
### アフリカ豚熱の発生状況

#### アジアにおけるアフリカ豚熱の発生状況

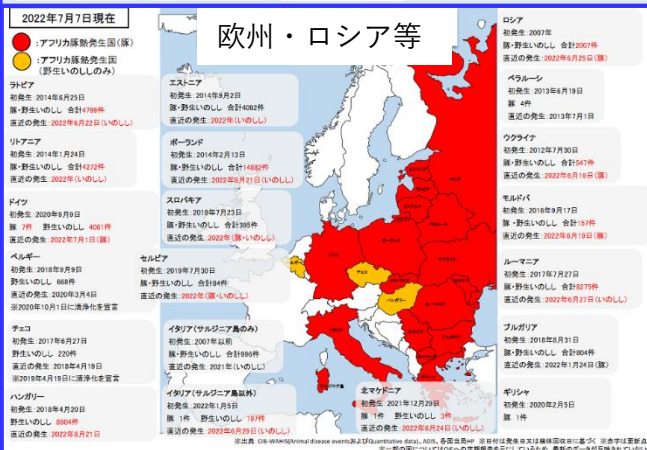


### 口蹄疫の発生状況 (アジア)

#### アジアにおける口蹄疫の発生状況 (2019年以降)



### 欧州・ロシア等



引き続き家畜伝染病の侵入防止のため、下記を中心とした防疫対策に万全を期するようお願いいたします。

### 1 畜産関係者等の渡航自粛

- ・口蹄疫、アフリカ豚熱等の発生地域への不要不急の渡航は避ける

### 2 消毒及び衛生管理区域への病原体持込み防止の再徹底

- ・必要のない者を衛生管理区域（特に畜舎）へ立ち入らせない
- ・衛生管理区域専用の手袋・長靴の着用、手指や物品の消毒実施
- ・踏込消毒槽は少なくとも1日1回は交換する
- ・野生動物侵入防止対策の定期的な点検

### 3 毎日の健康観察、早期発見・早期通報の徹底

- ・飼養家畜の毎日の健康観察を入念に行う
- ・口蹄疫、アフリカ豚熱等の特定症状を呈している家畜を発見したときは速やかに家畜保健衛生所へ届け出る

## 口蹄疫、アフリカ豚熱の症状とは？

**口蹄疫**は、口唇や舌、乳頭、蹄などに水疱（水ぶくれ）やびらん、痂皮（かさぶた）ができます。牛・豚・めん山羊などが感染します。

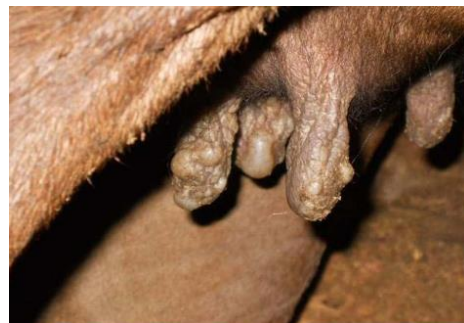
牛



歯床部粘膜のびらん(黒毛和種)

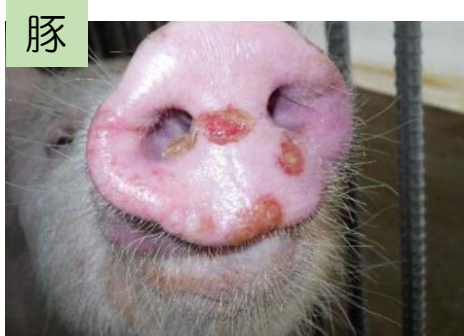


舌のびらん(黒毛和種)



乳頭の水疱(黒毛和種)

豚



鼻平面の潰瘍



蹄冠部皮膚のびらん



乳房、乳頭の水疱、びらん、痂皮

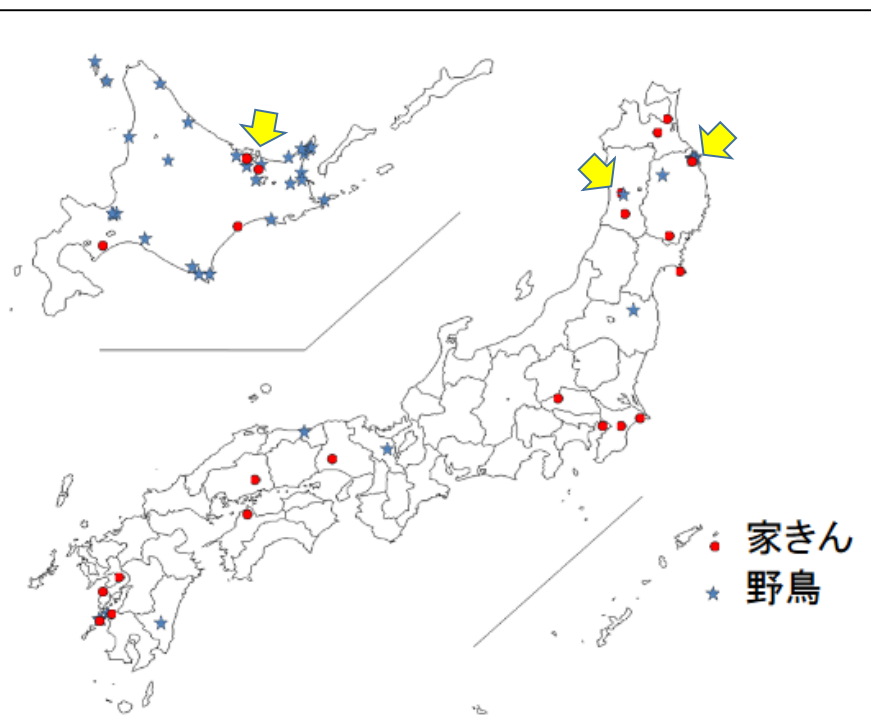
**アフリカ豚熱**は、症状が多岐に渡り、急死や40～42℃の発熱、皮下出血、粘血便、チアノーゼなどが見られ、ほぼ100%死亡します。

家畜保健衛生所は、土日祝日・夜間等も電話がつながります

# シーズン前にHPAI対策の確認を！

令和3年シーズンの高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）は、12道県25事例の発生があり、最終発生はこれまでで最も遅い時期（5月14日）になりました。だちょう（エミュー）でも初めて発生が確認されたことや、北東北・北海道を中心にハシブトガラスで多くの感染が確認されるなど、これまでとは違った様相を呈しています。

また、野鳥での感染が確認された地域の養鶏場での発生も複数認められ、改めて野生動物侵入防止対策が重要です。



## 家きん（25事例）関連含む

採卵鶏	14
肉用鶏（種鶏含む）	9
あひる	6
だちょう（エミュー）	3

## 野鳥（107事例）

環境試料	9
ツル類	1
ハクチョウ・カモ類	12
猛禽類（ワシなど）	27
ハシブトガラス	58

高病原性鳥インフルエンザ発生地点：農林水産省HPより（令和4年6月10日時点）

上記の発生を調査検討し、3つの対策のポイントが示されました。

### 1. 家きん舎内用長靴への履き替え、手指消毒・手袋交換

- ・長靴履き替え時の交差汚染の防止：スノコ等の設置
- ・手指消毒の徹底：触れた可能性のある場所の消毒

### 2. 家きん舎へのネズミ・野鳥等小動物侵入防止のための修繕

- ・クーリングパッド等の破損しやすい場所の点検・修繕
- ・バーコンベアや除糞ベルト等の構造的にすきまがでしやすい箇所  
の点検

### 3. 農場周辺及び農場内水場への対策

- ・ため池等の水域における水抜きや忌避テープ等の設置
- ・飼養衛生管理区域内の不要な水場の除去

# 農場HACCP認証取得！



(左から3、4番目：秋元幸一社長、秋元雅幸専務)

令和4年7月、白河市の養豚場「有限会社肉の秋元本店直営農場」が農場HACCP認証を取得しました。福島県内の養豚農場では2農場目の取得になります。

秋元社長は「食品加工ではHACCPが義務化になったが、その原料となる豚が安全でなければ意味がない、この取組みをもっとPRしていきたい」と意欲的です。

## 豚熱に警戒を

7月23日に、栃木県那須烏山市で83例目の豚熱の発生が確認され、国内最大規模の約56,000頭の殺処分が続いています。令和3年10月の73例目以降、**11例続けて福島県の隣県**（宮城県、群馬県、栃木県、茨城県）での発生となっています。

下記を中心に、さらなる飼養衛生管理の徹底をお願いします。

### 1. 農場・豚舎出入時の衛生対策

農場周囲には、野生イノシシから排出された豚熱ウイルスが存在しており、農場に進入する車両、立入する関係者、持ち込む資材などには**すべからくウイルスが付着している**可能性を認識する。

その上で、農場進入時・豚舎立入時の**2重の衛生対策**を徹底する。

### 2. 農場・豚舎内への野生動物等の侵入防止

柵を設置するだけでなく、**周囲の草刈り**等日常的な管理を行い、**整理整頓**をしておくことが有効。また、飼料保管庫や堆肥舎、死体保管庫は**特に野生動物の侵入を招きやすい**ことを認識して対策を講じることが重要。

### 3. 豚・資材等を介した病原体の侵入防止

豚舎間の豚の移動に用いるケージ等の正しい消毒。母豚を移動する際、可能な限り屋外を歩かせない。

### 4. 丁寧な観察と早期通報の徹底